

2016.6/no.60

東大和レポート

ルネサンス Renaissance

平成28年第2回 定例会一般質問

P.1.2 災害時の対応と事前対応について
P.2.3 地域の子供・高齢者・子を持つ親との
コミュニティについて
P. 4 緑化管理について

発行：関野たかなり後援会

※ご意見を頂き、少しずつ構成を変えていきます。今後も見やすいレポートにする為、ご意見・ご感想お待ちしております。

災害時の対応と 事前対応について

日本は地震国と昔から言われています。東日本大震災と違う地震となった、熊本地震を受けての東大和市としての今後の対応について「自然に勝つための対策（現在の耐震助成）ではなく「人が生きる為の新しい補助制度」の提案と、現地に知りえた情報（避難通路の確保）とその対策方法の提案の為、一般質問を行いました。

市長 今回の熊本地震では市庁舎の甚大な被災による初動対応の遅れ、避難所以外の場所での避難所生活、支援物資が輸送拠点で滞留し被災者に早い段階で届けることができない等さまざまな課題が報道されている。当市でも被災地支援の為職員3人を派遣し現地の状況を見分して来た。現地での経験をもとに、防災訓練等の見直しや追加等の検討を考えている。地震発生後の避難通路の予想状況と改善点について、安全な避難路を平素から家庭、地域での確認をお願いしている。地域防災計画の見直しの際に取り入れ、東大和市の防災に生かしていきたいと考えている。

関野 多くの議員が災害、防災に対して今回一般質問があったが自然と戦う事自体間違っており、やっぱり人間は自然と共存していかなければならないと私は思う。人間が生き延びる事を考えると住宅の崩壊や耐震補強を家全体で考えるのではなく、よく居る場所、休憩場所、応接間等の一部を崩壊しな

※詳細は東大和市ホームページ上の議事録を参照願います。

い耐震の考え方をしていかなければならない。例えば鉄骨の柱をよく居る場所に設置する等の耐震補助制度を考えてほしい。

回答 先日、とあるラジオ放送でそのような事を防災の専門家がお話していて、確かに昔からトイレ、玄関等は以外と梁や柱が多く、家屋の中でも安全な場所と言われている。関野議員のお話の通り、家屋全体でなく1カ所をというのでも十分に理解しているが、今のところ裏づけがまだとれていないので、その辺を研究等していきたいと思う。

関野 補助に関しては市独自では予算がないので多分出来ない。日本全体は地震国なので、国としてやる方向で持っていく為に市で考え、市長会から知事会でお話ししてほしい。提言を市長会等で上げる等の事を要望をする。

次に、避難通路の件だが、私は時間が無く熊本には行けなかったが、熊本出身の建築業とIT関係者の友人が行く事になり、物資だけお願いして状況を聞いたが、家の周りのブロック塀や擁壁がしっかりしていると家が崩れても断てとなり、道路側に家が倒れない箇所が多くあり擁壁がしっかりと止めていたと聞いた。少し市内を歩くと手でぐらぐらするような擁壁や鉄筋が入っていないような擁壁もあった。擁壁に関しての基準の説明をお願いする。

回答 施行令の中に補強コンクリートブロック造の塀の設置基準法がある。

●高さ2.2メートル以下、壁の厚さ2メートルを超えるものは塀15センチ以上とする。

●2メートル以下の塀は10センチ以上。

●鉄筋の配筋、要所要所に鉄筋を入れる。

◀裏ページへ

緑化管理について

3月議会に続き、高所作業での死亡事故について、その後の状況と関係法人の対応を確認しました。しかし再度、切った木を近隣住宅に倒したとの情報が入った為、法人の責任と行政としての対応、今後について一般質問しました。

市長 狭山緑地における高所作業事故のその後、死亡事故として調査し東大和警察署及び立川労働基準監督署へ問い合わせたが、両署とも調査継続中の事。委託事業を実施するに当たり、見積り作成段階で現場の状況を十分に把握した上で、工法や作業機材の導入など調整を行い、十分な安全を担保できるような仕様の作成を行ってきたが、今回の事故を教訓に、安全面に対する内容をより明確にしたい。

関野 今回と前回の市長の答弁だが、優し過ぎる部分がある。今回の委託事業を実施するに当たり、現場の状況を十分に把握した上で、工法や作業機材など調整を行い十分な安全を担保できるような仕様書の作成は良いが、「今回の事故の教訓に安全面に対する内容を明確にしたい」とある。ここまで業者の方々に気を配る必要はないし、業者として仕様書を読めてないという点も考えものだが、前回の事故後、警察も労働基準監督署も調査中との事で、死亡事故後の作業を何う。

回答 死亡事故の約1カ月後、同じ業者が事業を再開し始めたが再度事故が発生し、全ての業務が終了していない。事故の内容はつるし切りという高所作業車を入れない中で伐採を行い、ロープを三方にかけて根元のところを切った。本来は引いてあるそのロープの方に倒れるはずだったが、一本かけてあるロープの幹の部分が裂けてしまい本来倒れるべき方向ではない、隣接の住宅の屋根に直撃してしまった。

関野 幹が折れたとの事だが、結ぶときに気づかなかったとしたら業者として失格だと思う。前回は仕様書に書いてあること通りにはやらなかったが、今回は仕様書に書いてある形でやったが、ある意味契約違反である。1回目の事故で指名停止。今回またぶつけてしまいそれに対する停止があるのかどうか、また契約不履行、契約違反したものに対しての指名停止、罰則等をとっているのか。

回答 市と契約を締結した上での実施中の2回目の事故であり、当然指名停止措置をとっている。死亡事故を起こした後、安全管理を徹底するという条件で業務継続を認めていたが、また事故が発生した。契約履行実績が著しく不良であると認めて指名停止6カ月の処分としている。今回2回目の物損事故は安全管理を徹底するとして、市と業務継続を行っている中で起こしたという事で適正を欠く行為としている。

関野 2回も事故を起こして2回の罰則、指名停止と契約不履行で、ある意味損害賠償である。素人のような業者の方が外に出て仕事をした場合、東大和のこの業者はダメだと言われれば、東大和の顔に泥塗られる可能性もある。きちんと業として成している会社を外に出させるための市内業者育成をしていたきたいと要望する。

東大和市議会議員 関野たかなりプロフィール



生年月日：昭和48年10月14日42歳
衆議院議員のもとで、スタッフとして政策を学ぶ中、自分の生まれ育った東大和市の状況を知り愕然とする。生まれ故郷の東大和市行政の将来必要とする政策（民間的経営感覚・文化芸術・自然保存など）の無策の危機と街の将来像に不安を持ったことが市議会議員として立候補する事を決意し現在に至る。2015年の統一地方選挙で4期目に入！テマリ保育園れんげ保育園を経て都立北多摩高校卒業。商工会青年部・東大和青年会議所・東大和おどりフェスティバルなどで活動中
平成15年29歳・初当選/平成19年33歳・2期目当選
平成23年37歳・3期目当選/平成27年41歳・4期目当選
楽しい街（東京・東大和）創りを目標に日々奮闘中！！好きな言葉は、意思のあるところに道あり。

@TakanariS

関野たかなり

http://sekino2.com/index.html

TEL:042-567-4332 eFAX:020-4622-7039

(普通のファクスと同じように送ってください)

〒207-0032 東大和市蔵敷3-775 芝中住宅イ18-305

表ページより▽
●控え壁は長さ3.4メートル以下(ごに鉄筋を配し、配筋した控え壁を設置する事と基礎の部分についても高さの5分の1以上直角に突出させる構造とする。)(高さ1.2メートル以下の塀は適用になつていない)
●基礎の丈35センチ以上、根入れの深さ30センチ以上とする。

●鉄筋の端部、末端をかに状にして横筋、縦筋と結ぶ。
また、道路管理者の立場として確認的になるが、明らかに危険またはちよつとした揺れ等で倒壊の危険性がある場合は、そのお宅に改善のお願いに行く事は道路管理者の立場からしては可能だが、市内網羅的にそういった箇所を見ている現状はない。建物を建設時、検査は市としてはではなく、建築基準法の第6条の4に確認の特例に関する審査対象外の規定がある。一定の規模で建築士が設計する建築物や形式認定を受けた建築物については審査を要しないとなつているが、この特例を受けたものでもこの法律に適合するように、基準に適合する為には、建築士が自己の責任できちんと確認を行うとなつている。
昔から防災については自助7割、共助2割、公助1割と基本的には自助と共助が重要との認識がある。私どもの確認作業は考えていないが、今後できる限り御自分たちで危険箇所を確認する作業をするように、自主防災組織の支援等、様々な総合訓練の中で周知に努めたいと考えている。

関野 蔵敷、芋窪を歩いて見て、筋交い、控え壁がなく、昔のブロックがまだある。市として避難通路を地域の方に考えさせるのも一つだが、外壁、擁壁に関して市内がどういふ状況かの確認作業を行う必要がある。色々な職員の方が市内を車で回つてると思うが、

前ページより▽
関野 兵庫県に地域祖父母モデル事業があり、地域で子供たちを育てるという事で、例えば子育てひろばでは年代を越えた方々が集まるが、役所で設置している赤ちゃん・ふらっと等、子育て経験を積んだ方、試験を受けた方以外にも高齢者が井戸端会議しながら子供たちも見守れる仕組みを、東大和でも出来ないかと思つている。保育園、幼稚園等建てると金額がかかる。以前から保育ママや小規模保育も活用しながら、園のバックアップ施設という形で要望し実施しているが、26年度につくられた子ども・子育て支援ニーズ調査アンケートの自由回答を拝見したが、その中に「急な用事が入り子供を預けたいときにお預け出来る環境があれば助かると思つ」「近くに親族がいないので困つている」等、緊急時に預ける所が遠い、何かあったときに保育等に入れてない方々が、一時でも預かる場所が無い状態だという声もある。園に入れるという事は園を建てればその分、他園の人数が入るが園に入れずに、まずは自分でやろうとしても、お母さんお父さんが病気になつた時、または緊急の用事ができた時に預ける一時保育に関してうまくいっていない状況が見受けられる。色々な形で高齢者の方とお話しいても、顔を覚えなないと地域でもなかなか挨拶はないので、例えば別の場所でも高齢者の集まる場所を作つて子供とお母さんと高齢者のコミュニケーションをとれる場所の提供は可能なのか。

昔と比べ希薄化、核家族が進んでいる中、どのような子育てかと考えると、やはり隣近所のおじちゃん、おばちゃんに私は怒られて育つた思いがある。子育てをしているメインはお母さんなので、たまには息抜きをしてもらう、または少し疑問に思ふ事をいつ

折角回つているのなら目的地向かうだけではなく周りをしながら、例えば穴があいてる、道路に何か落ちてる等を確認してほしい。先ほど自助、共助とあったが私は公助だと思ふ。市でそういった建築確認の特例をして、OKをしている。12メートル以下のものに意外に関しては、一応設計の方がしっかりしているから良いという特例ができてるので、道路や避難通路の安全は市として携わつたほうが良いと考える。

回答 市では、建築確認の事務を行っていない部分はあるが、防災関係、安全な街づくりとして地域の防災性を高める上では大切な事だと認識している。御指摘のように視点を少し変えてパトロールに当たる事で、未然に防止する事が可能だと思つので努めたい。

関野 また新堀地区等は、塀が片方でも倒れれば全く通れなくなると思ふ。今後、大震災が起つた時の市民の安全の確保を要望する。

主な地域コミュニティ

公立私立 / 認可保育園	16園
認定こども園	2園
小規模保育	1園
保育ママ	2園
H.28年4月1日現在の定員…2,183人	

家庭保育などの対象事業

- 子育て広場(集いの場・子育て相談など) 私立保育園3園で実施
- 子育てひろば事業費委託料=1園/66万円、3園/498万円
- つどいの場オープンデー…7,094人

育児講座	431人
手芸や耕作などの教室	1,750人
相談件数	190件

- 平成27年7月から病児・病後児保育とお迎えサービスを開始
- 平成28年度予算…2,500万円余り
- 平成27年度の利用人数…病児・病後児保育/1,234人、お迎えサービス/16件

	予算	参加者
老人クラブ育成事業	554万9,000円	859人
介護予防リーダー及び体操普及推進員養成講座	323万9,000円	36人
介護支援いきいき活動事業	158万7,000円	83人

市長 平成28年度、更に日本一子育てしやすい街づくりを進める為、認定こども園や小規模保育への移行による待機児童解消、休日保育の拡充、保育コンシェルジュの配置、赤ちゃん・ふらっとの整備及び育児パッケージの配付等を行っている。

▽次ページへ

でも聞ける体制を、今の時代は市が取らねばいけない。予算をかければ幾らでも良いものが出来るが、今回の提案は予算をかけずに地域で育てる形で、今の事業といかに連携ができるのか。新しく行つたお迎えサービスや保育コンシェルジュは利用率が高いのは、やはり緊急な事やどうしても時に利用されているものと理解する。「何を求められているか」行政マンならわかるはずなので課や部を超えてどういった形で子供達、そして地域の人達に繋げられるか、新しい事業を検討していただきたい。

回答 例えば特色ある公園づくりに力を注ぎたい。市内に100カ所、公園の定義を受けている場所がある。近所のお年寄りがお話をしたり、お子さんを連れとお母さんが公園デビューとして集える場所です。今お話しただいたような交流が出来て、お子さんから高齢者の方まで、うまくコミュニケーションが出来る事を、まだ先になるが検討していきたい。

今後お金をかけないで何が出来るか。今非常に注目を浴びてのが子供の居場所づくりや食事の提供等が叫ばれているが、やはりお子さんだけではなく、保護者も一緒に集つてもらつ。そこでマンパワーとなるのが、地域の高齢者を中心とするボランティアの方だと思ふので、国でも自治体の一般財源に求める事なく、新たな居場所と交流の場所として子供をキーに色々な方が集える場所は今後広がるのではないかと考えている。

関野 最近行われている子供食堂等があるが、微妙な部分もある。都内の方では、業者・宗教・政党が囲い込みをしてしまふ事案が出ていたり、内容は良いが実施する方々の考え方でおかしな方向に行つてしまふ場合もある。しっかりと監視してほしい。

地域の子供・高齢者 子を持つ親との コミュニティについて

この質問は、コミュニティの強化により、地域の子育て経験者と初出産のお母さんとを繋ぐ体制づくりや今後の幼稚園・保育園の新規建設を、無駄に建設しないで小規模保育や保育ママなどを活用して、多彩な生活状況の中でも子育てしながら息抜きが出来るよう提案する為です。
以前から議会にて保育ママ制度や小規模保育の提案要望を行い、実現後の今後の流れの確認を行う為、一般質問しました。

関野 東京都の元気高齢者地域活躍推進の補助事業だが、元気な高齢者の増加、福祉人材の不足が背景にある。事業の目的は健康づくり、社会貢献などの生きがいをつくることに、保育所あるいは高齢者施設等の従業員負担軽減を図るとしている。世代間交流の事業の視点が見られるものとして、具体例としては保育所等での昔遊び、本の読み聞かせ、あるいは学童クラブでの児童の見守り、遊び相手、高齢者施設、障害者施設での食事の配膳、清掃、レクリエーションの補助などが例示として挙げられている。

回答 豊かな街にしていける為には高齢者から子育ても含めて大きな施策がたくさん必要で、それらが有機的につながり合つて初めて街づくりができると考えている。高齢の方が子供達と一緒に元気に色々な事を楽しむ姿は街づくりの中にあつては非常に大切な風景だと思つている。今後も元気な高齢者の皆さんとしっかり支援していきたいと考えている。

関野 市民の方にもしっかりと理解をしてもらい、地域コミュニティをつくりを要望する。